

ICT を利活用した質の高い教育の推進に向けた計画について 取り組みと評価

本学は「ICT を利活用した質の高い教育の推進に向けた計画」を 2025 年 3 月 31 日までの計画実施期間として 2023 年 10 月 26 日から施行した。

2023 年度は、教務専門委員会が主催する FD として「縦割り授業の実施による学修効果と学修情報の共有について」を 2023 年 11 月 6 日（月）にハイブリッド型において実施した。この FD のテーマのひとつに質の高い教育の推進に向けた「学修成果の可視化」を設定し、全学教員間で学修情報の共有を行った。学部別（工学部及び総合情報学部）に学年別かつコース別の各学生の GPA と修得単位数を用いた散布図によりデータの可視化を行い、コース間の成績分布等を比較した。また、1 年間の学修による分布の変化から習熟度の把握等を行った。

各コースでは各学期の開始時や終了時に学修情報を用いて面談を実施しているが、FD で共有した可視化された学修成果情報を意識した学生指導が行われた。

後期の開始時のオリエンテーションでは、教育の質の保証（学修成果の可視化）に向けた基礎データを集めるため学生生活調査（学生アンケート）を実施し、前年度との比較等を行っている。

教務部長 蒲原新一